

ビジネス基礎

資金調達
教科書

導入

- 資金調達とは？
- 資金を 調達 ？
- どんな資金を どこから調達 ？



- 資金には、3つある
 - 開業資金
 - 設備資金
 - 運転資金

銀行

投資家

個人

運転資金

- 日々のビジネスに必要な資金
- 商品を仕入れ、顧客に販売し、代金を回収

仕入費用

家賃

光熱費

賃金

借入金支
払い

設備資金

- 「設備」とは
- 建物、機械、備品など
- 高額で、頻繁に購入しないもの

開業資金

- 新たにビジネスを始めるとき
- 会社設立の「登記」
- 開業時の運転資金
- 設備資金

資金調達の方法 (P.113)

- 借りる、もらう、自己資金など...
- 借入れ
- 金融機関からの借入れ
- 返済義務、利息
- 保証人、担保など必要
- 貸し付けの判断基準
- 事業計画
- 経営成績
- 信用度

会社の規模にあった金融機関

金融機関との
信頼関係

社債の発行

- 金銭と引き換えに企業が発行する債券

社債

- 返済義務

償還

- 利息あり
- 多数の投資家から調達可能
- 返済までの期間が長い

5年、10年

返済不要のケース

株式の発行

- 資本の増加
- 借金ではない
- 広く資金を集められる

出資者(株主)側からみると

- 利点

株式公開による株価の上昇

欠点

つぶれたら出資が無駄になる

大企業以外は、出資者が限られる (株式を購入できない)

その他の方法

起業する場合、

- 実績が無い
- そのため、信用度が
- 低い
- 金融機関などから資金調達できない
- から
- 起業前に自己資金を貯める
- 親族に借りる
- 他に

クラウドファンディング

- cloud 雲
- crowd 群衆
- fund 資金
- croud funding
- 不特定多数から資金を集めること
- インターネットの呼びかけに応じた人が
- 資金を出してくれる

ベンチャーキャピタル

- Venture 冒険
- 新しい土地に進出する
- Capital 資本
- 新規起業する人やビジネスを支援する
- 投資会社

振り返し

- ビジネスに必要な資金は何か
- 3つ
- 開業資金、設備資金、運転資金
- 企業はどのように資金を集めるのか
- 借入れ、社債、株式、その他
- 集めた資金は返すのか
- 借りたものは返す
- 株式、クラウドファンディングは返済しない